

11/14

12ヤケトゴカレ

# 昨日佐ト訪米阻止斗争に 市大千名が決起する！ 法スト実

我々市大千名の戦斗的な部隊は、従来三日統一ストの経済斗争への歪曲に断固抗議しつつ、口鉄、動力車、郵政等々の反合理化斗争を闘う労働者や、生産史で日々苦悩しながら闘っている反戦派労働者、そして沖繩において、祖口復歸運動をのりこえて全県口ネストで決起された先斗的労働者<sup>(唐校生)</sup>と熱い連帯の下に、車道一杯のフランスデモをも含む先斗的なデモンストレーションを、兵力の弾圧の下に獲得し、70年安保粉砕、佐ト訪米阻止の固い意志統一をかかわした。

70年安保改定期にあって、日本支配者階級は、沖繩問題のブルジョアの解決と安保の東洋的強化を一体的に、沖繩の「核基地付自由使用」返還運動により守るべきとしている。そのなかで、サンフランシスコ条約第三条により本土から分断され、米帝の直接的軍事下におかれた琉球地沖繩の施政権返還(祖口復歸)を大前提とし、オオ条「事前合意制」の實質的撤廃による本土の沖繩化(日本核武装化)を行い、在日米軍のベトナム、台湾、危機の起リつつある朝鮮への自由出動を合法化し、また、オ五条「共同防衛地域」の全アジアへの拡大による、沖繩の太平洋における反共軍事要塞化であり、オオ条の下でも海外自衛隊の出動をも合法化する契機がある。これを「四次防」「口防白書」に見られるように「沖繩自主防衛」キャンペーンによる帝口主義的軍事力の増強によりなさんとしている。

この契機を通じて米帝のベトナム戦争の敗北、ドル危機による政治的軍事的経済的破綻を「肩代り」すべく、反共軍事戦略の転換、極東防衛体制の再編の一貫を荷なわんとしている。これを基盤としてつは年日韓条約を契機にして、ベトナム戦争につき動かされる形でアジアへの経済援助、資本輸出を行ない、米帝との対立を激化させつつも、「ドルと核の傘」の下での「アジア太平洋経済圏」の形成を新植民地的な侵略<sup>通し</sup>をなさんとしている。

それ故に、60年安保の抜削に基づいて「自動延長」方式をとなし、条文をそのままにして、日米両政府向の「共同声明」の発表をもって最終的に野望を買徹するための、十七日佐ト訪米を契機として阻止しなければならぬ。これに対して支配者階級は、大学法の強行採決を法的根拠に全口学園斗争を暴力的に圧殺し、徹底した予防検束や大学事前捜査、ロックアウトを行ない、破防法適用、首長権限の反動化や11月1日からの「70年臨時体制」をひいて大量の警察官の導入を行なうなど、あらゆる強制的な弾圧体制をひいている。

他方、既成左翼社会党、共産党は、十二月口会解散を叫び、自らの政权理想に基づく栗田獲得に狂奔し、反代々木全学連、バ平連、反戦青年委員会等々のため出しを計り、庶民の反議会主義的運動のただ中に身を投じている。我々は、この急激的現状の中にあつて、市大の地において、今日から徹底した<sup>(ストライキ、デモ)</sup>クラス、セミストライキ、集会をもつたりして、何々人が最大限の行動をとり、佐ト訪米阻止、70年安保粉砕、沖繩斗争勝利、佐ト自主防衛政府共闘の斗い、に決起することを訴えます。

60日午後時 南町公園(南町公園)に集まり、

(中野まど子)